

第10回「先輩と語る」講演会

国立試験研究機関における レギュラトリーサイエンス

ーバイオ医薬品等の品質・安全性評価と国際協力ー

演者：川崎ナナ 博士（27期生）

国立医薬品衛生研究所生物薬品部長

日時：6月14日（月）18:30-20:00

場所：北海道大学薬学部臨床薬学講義室

主催：北海道大学薬学部 共催：日本薬学会北海道支部

後援：北海道大学薬学部同窓会

川崎ナナさんは、1986年に薬品製造学講座修士課程を修了後、国立医薬品食品衛生研究所において、バイオ医薬品や生体高分子医薬品の評価研究（レギュラトリーサイエンス）に従事されてきました。1996年には薬学博士（北海道大学）を取得しています。

近年、バイオテクノロジーを応用して、新しい構造や性質を持つタンパク質医薬品が次々と開発され、リウマチ、癌、糖尿病などに優れた治療効果を上げています。その一方で、昔から使われている生体高分子医薬品に異物が混入し、世界中を巻き込んだ有害事象が発生しました。今回は、国立試験研究機関に従事する立場から、バイオ医薬品や生体高分子医薬品の品質・安全性の確保をめざしたレギュラトリーサイエンスの現状と、WHOなどへの国際協力活動を紹介して頂きます。当日は質問時間をもうけますので活発な質問を期待します。会場が狭いので早めにお越し下さい。

連絡先：北大大学院薬学研究院薬化学研究室 松田 彰(011-706-3228)